

**KRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌**  
**ベクティビックス+イリノテカン併用療法 患者プロトコール**

催吐リスク
<b>中等度</b>
放射線併用なし

投与プロトコール <b>1コース14日間 コース:制限なし</b> 《開始時基準 PS:0~2 年齢:18~80歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートkeep	生食 500ml	—	day1	—	
プレメディ	5-HT3受容体拮抗薬+デキサメタゾン+生食100mL		day1	30分	
①	<b>ベクティビックス :6mg/kg</b> 生食 100ml	mg	<b>Day1</b>	1時間	
経過観察 (1時間)	ベクティビックスの投与前後は、ベクティビックスの投与速度と同じ速度でルートキープ用生食を用いてフラッシュする。以降、infusion reactionの発現に注意し、②を投与する。				
②	<b>イリノテカン :150mg/m<sup>2</sup></b> 5%ブドウ糖液 500mL	mg	<b>Day1</b>	90分	

佐賀大学医学部附属病院